

StatFlexの概要

多様なデータシート組み替え機能で、探索的データ解析を支援

分布型の分析

群分け・統合

頁分割と解除

行・列・頁フィルター

データシート視点切換

統計情報出力ウィンドウ

- ・主要な統計分析結果をHTML形式で出力、他ソフトでそのまま利用
- ・ツリー構造で、統計分析結果出力を自在に制御
- ・P値、相関係数を色分け表示

自動グラフを自在にカスタマイズ

グラフ編集ウィンドウ

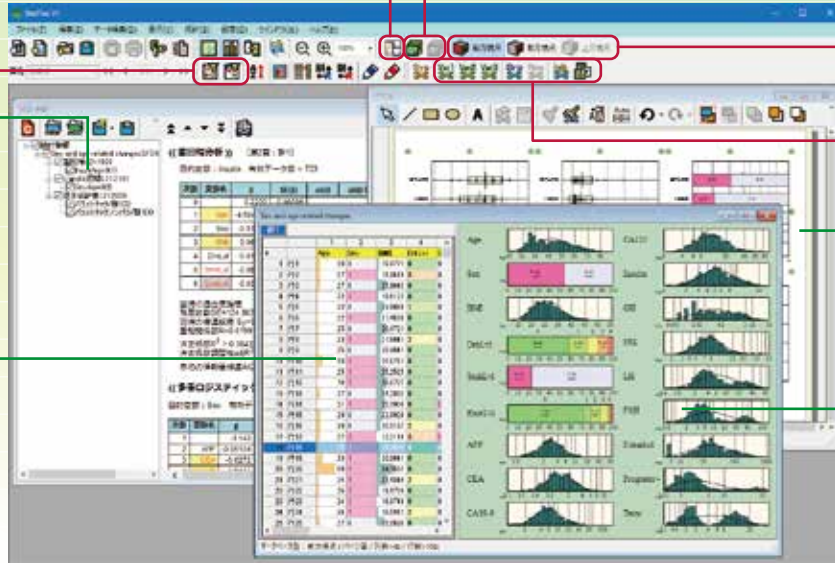
- ・自動グラフを加工、再配置してプレゼン・論文で利用

豊富なデータシート編集機能

- ・データシートの頁分割と解除(群分け・統合)
- ・行列フィルターで、データの絞り込み配置変更
- ・値に応じてデータセルを色分け
- ・変数型・小数点位置を自動判定し表示調整
- ・仕切り値登録、変数組み換え、ダミー変数作成

自動グラフ・ウィンドウ

- ・データシートの更新や視点の変更に連動
- ・任意のべき乗変換による正規化に対応した座標系
- ・描画要素をグラフ設定で自在にカスタマイズ



データ形式と立体データシート

StatFlexでは統計処理に用いるデータを、下記シェーマに示す4つの形式に分けて取り扱います。大多数のデータは、そのいずれかに属し、入力時点でその形式が分かれば、データにふさわしい統計処理やグラフ表示が可能となります。StatFlexは、データシートの3次元化や視点の切り換え機能により、4つのデータ形式の特徴を活かした、データの加工・作図、統計処理環境を提供します。

データベース型

データベースと同じテーブル構造。列単位に異なる変数を配置、各行が一つのレコードを表す。前方視点で多変量解析を、側方視点で変数別に分布形状を分析。群分けにより独立多群型に、個体分けにより個体別型に変換可。

関連多群型

同じ個体で条件を変えて繰り返し計測した場合に利用。異なる変数を真方向に配置。行方向でデータが連結しているため、関連多群型と呼びます。前方視点で、条件別に多変量解析を、側方視点で条件間比較を、上方視点で変量間の値の一貫性を個体別に分析。

独立多群型

対象個体を群分けし、変量別に値を比較する場合に利用。行方向にデータの関連が無いいため、独立多群型と呼びます。前方視点で群別に多変量解析を、側方視点で変量別に群間比較。

個体別型

経時的に観察されたデータを、個体識別列と時間識別列の情報に基づいて、個体別に切り分けて利用。側方視点で変量別に経時変化を個体間で比較、上方視点で変量間の値の一貫性を個体別に分析。